

NEW OKUNO HOSOMICHI・YAMAGATA
新・奥の細道

一周ルート

(24)

草木塔を訪ねるみち

Somokuto-o-tazuneru-michi



山形県

周辺の
アクセス
ガイド

水沢までは
・米沢駅前からバスで40分。
・山形新幹線UJ米沢駅まで東京から2時間15分。
・山形新幹線UJ米沢駅まで東京から2時間15分。
・米沢駅前からバスで20分。



観光・宿泊のお問合せ	米沢観光協会 〒992 米沢市丸の内1-3-60 置賜広域観光案内センター 〒992 米沢市駅前1-1-43	☎0238-21-6226 ☎0238-24-2965
交通のお問合せ	JR米沢駅 〒992 米沢市駅前1-1-43 山形交通米沢営業所 〒992 米沢市駅前2-2-58	☎0238-22-1130 ☎0238-22-3392
コースのお問合せ	米沢市観光物産課 〒992 米沢市金池5-2-25 山形県環境保護課 〒990-70 山形市松波2-8-1	☎0238-22-5111 ☎0236-30-2207

表紙の写真は、入中(白夫平)の草木塔

GUIDE
みどころ案内

草木塔

「草木塔」あるいは「草木供養塔」と刻まれた石碑は置賜地方に約70基ほど確認されており、置賜以外では山形県内に22基、福島県と岩手県に1基づつ、最近のものが東京に3基ほどしか確認されていない全国でも珍しい石碑です。

草木にもそれぞれ靈魂かやどり、その草木から得られる恩恵に感謝し、伐り倒した草木の魂を供養する心が、草木塔を建てさせたとも言われています。

その草木塔の中で現在発見されている最も古いものが、米沢市大字入田沢字塩平地に建っている石碑で、安永9年(1780)7月19日、上杉鷹山の時代に建てられたものです。高さ112センチ、幅46センチ、厚さ22センチの自然石に「草木供養塔」と刻まれています。

寛政9年(1797)の米沢市大字入田沢入中(白夫平)の草木塔は、釈迦如来を表す梵字(古代インド文字)の下に「草木供養塔」と刻まれ、その左右に「一佛成道親見法界」「草木国土悉皆成佛」とお経の一節が刻まれています。仏教の「草木はもちろん土石にいたるまで、すべてが仏になれる」という教えの影響がみられ、多くは神社や道端に建てられていますが、湯殿山碑や飯豊山碑と同時に建てられた草木塔もあり、山岳信仰や修験道の影響も感じられます。



●下の町の草木塔

文政9年8月15日(1826) 82cm×47cm×33cm
碑の中央に「草木塔」、右横面に「文政九丙戌歳」、左横面に「八月十五日」その下に「町方施主」と刻まれています。この町方とは、地元の建立か、あるいは草木の恩恵を受けている町の方々の建立であると考えられています。

●上屋敷の草木塔

寛政12年8月15日(1800) 86cm×36cm×30cm
碑の中央上天に「種子」、右側に「草木供養塔」、右側に「寛政十二甲天」、左側に「八月十五日」、「導師瑞林寺」と刻まれています。



●上中原の草木塔

慶応元年7月20日(1865) 170cm×62cm×55cm
碑の中央に「草木塔」、右側に「慶応元年七月廿日」、左下に「三田沢講中」と刻まれています。現在は5月20日に早朝講中にて地元寺住職により供養されており、供養の御礼が配られるなど、非常に貴重な信仰形態が残されています。

上杉氏十代藩主、上杉治憲(鷹山)公の時代から山村の庶民信仰の一つとして建てられたのがこの「草木塔」です。山村の生活を支えた森林資源と自然を守り、草木の成仏と成長を願って建てられました。

「草木塔」は、米沢を中心に置賜地方の山村に分布する全国的にも珍しい石塔です。年代の古いものは「草木供養塔」と刻まれ、新しいものは、「草木塔」と刻まれています。

現在、日本の自然保護の原点として高い評価がなされています。



●神原の草木塔

文政6年8月8日(1823) 77cm×49cm×38cm
碑の中央に「草木供養塔」、右側に「文政六年天」、左側に「八月八日」、左下に「神原」と刻まれています。



●大明神沢の草木塔

安永9年8月1日(1780) 110cm×40cm×38cm
碑の中央に「一佛成道親見法界」「草木国土悉皆成佛」、右上に「安永九庚子天」、左に「八月一日」、右下に「講中」、左下に「口田沢」と刻まれています。



●戸長里の草木塔

文化4年8月8日(1807) 85cm×62cm×20cm
碑の中央に「草木供養塔」の文字の上に「種子」が刻まれているが、「草木供養塔」の文字にくらべて大きく刻まれているのが特徴です。右側に「文化四丁卯」、「當村」、左側に「八月八日講中」と刻まれています。

●入中(白夫平)の草木塔

寛政9年8月13日(1797) 85cm×62cm×20cm
碑の中央に「草木供養塔」、右側に「一佛成道親見法界」、左側に「草木国土悉皆成佛」、右端に「寛政九丁巳年」、左端に「八月十三日中通」と刻まれています。

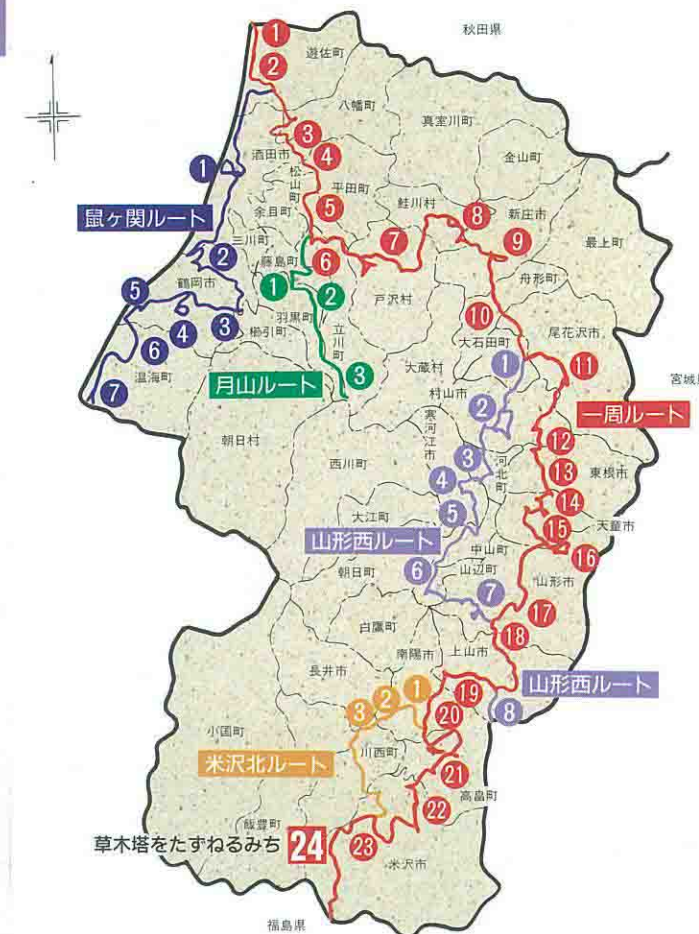


●塩地平の草木塔

安永9年7月19日(1780) 112cm×46cm×22cm
碑の中央に「草木供養塔」、右側に「安永九子天」、左側に「七年十九日」と刻まれています。草木塔の中で現在発見されている最も古いものとされており、上杉鷹山の時代に建てられたものです。

YAMAGATA MAP

東北自然歩道(新・奥の細道)ルート図



“新・奥の細道”とは

自分の足でゆっくり歩きながら、森や川、野鳥や虫など豊かな自然にふれあい、また、その地域の特色ある文化や歴史と親しむためのみちです。

“新・奥の細道”は正式には東北自然歩道といいます。この自然歩道は、一日で歩ける程度の遊歩道を1つのコースとして、コースの間をバスなどでつなぎながら東北を一周する長距離自然歩道です。そして、この道は福島県白河を起点とし、宮城、岩手、青森、秋田、山形の順で経由して福島県郡山に至るルートになっています。

また、この“新・奥の細道”は東北を一周するルートの他に、景観の優れた地域や名勝地等に向かうルートがあります。県内でも、月山ルート・鼠ヶ関ルートなど4つのルートがあり、山形県内のルートをあわせた総延長は45コースで469kmとなっています。

この“新・奥の細道”を楽しむために

1. コースのみどころ、地形、距離をあらかじめ調べて、余裕のある日程を組みましょう。
 2. 歩きやすい服装で、荷物は最小限にとどめましょう。
 3. 天気予報に注意して、天気のいい日を選んでゆっくり歩きましょう。
- この3つを守り、友人と、家族と、さあ出発!

おねがい

- ・ゴミは捨てないで持ち帰りましょう。
- ・たばこの投げ捨てや、山火事には十分注意しましょう。
- ・案内板や休憩所はみんなのもので、大切にしましょう。
- ・美しい自然は、人間だけのものではありません。草花や虫たち、小鳥たちのためにも自然を汚さないようにしましょう。
- ・そして、美しい自然を後世まで伝えていきましょう。

このみちは、年金積立金元元融資を受けてつくられました。